

いたちかわらばん

通刊42号 鮒川・狹川 / 川原番・瓦版 08 夏号



【版画 宗森英夫】

(下流から見た桂橋)

少しづつではあるけれども最近ゴミが減ってきたように「川がきれいになってきましたね」と声をかけて頂くこともある。そんな時改めて、五年とか一〇年もの間家族揃って活動されている方、若さで強力な助っ人となつて大活躍の警察学校の生徒さん達、ゴミ投棄防止のためにプロムナードのお花畑を手入れして下さっている女性の方、活動できなくなった今も外から支えて下さっている方々など、多くの人達のお陰と思う。通りすがりの人から、こうした感謝の言葉を耳にすると我がことのように嬉しく、仲間の一人としてこれからも活動を続けていきたいと思う。

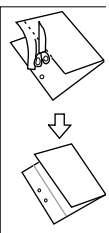
(古希を迎えたあひる)

十年をふり返って

久しぶりにいたち川をゆつくりと散歩した。爽やかな初夏を思わせる風が頬を撫で、美しい新緑が心の中まで飛び込んでくる。ふと、いたち川と出会った十年前を思い出した。あの頃は大雨の後、川の中や水辺に大小のゴミが散乱していてとても見苦しかった。折角街の中に自然の姿を留めた美しい川があるのに。何とかこの素晴らしい環境を守っていきたいと思って始めたのがゴミ拾い。それが水辺愛護会との出会いでした。「出来る時に無理をせず」をモットーにして今も続いている。

ゴミと言えば、大きなスプリングベッドから始まり新品同様の自転車までが川の中に沈んでいるなど、その無残な姿を見ると「何でこんなことを」と悲しくなつた。いちばん目に付いたのがペットボトルの容器類。他にもプラスチック製品が多くて、特にビニール袋は場所を問わずに絡みついている。大変だったのは台風の後で、大きな流木が流れを遮っていた時には数名が川の中に入り、鋸で切って運び上げたりしたこともあった。手に負えないものは土木事務所をお願いしての活動であるが…。

この部分を切り取ってファイルにすると便利です



いたち川が楽しいよ！！ みんな遊びに おいで 7～8月は「いたち川月間」

「いたち川月間」期間中のイベント案内

栄区では、いたち川の魅力をもっともっと高めながら、川を活かしたまちづくりを進めるため、7・8月を「いたち川月間」として、川の周辺で行われるイベントをPRしていきます。



イベントの名称	内 容	日時等	場 所	お問合せ先
水辺に棲む生きもの調べ	水辺にはどんな生きものが棲んでいるのか、詳しい人と一緒に調べてみよう。	7月20日(日) 10時～12時	瀬上市民の森 みんなの池 (旧トンボ池)	瀬上沢とホテルを守る会 問合せ先：鎌石 TEL 892-0410
		8月17日(日) 10時～12時		
いたち川 大そうじ	天神橋から警察学校前までの河川敷やプロムナードをみんなで掃除しましょう。 申込：7月18日(金)までに電話かFAXで参加人数を。 (雨天中止)	7月30日(水) 10時～11時30分 ※ 汚れてもよい服装、帽子、ゴム長靴等。	「大いたち橋・小いたち橋広場」(区役所裏)	区役所 資源化推進担当 TEL 894-8488 FAX 895-6990
さかえ なんでも知り隊 いたち川知り隊	いたち川にいる魚類の観察、植物観察、いたち川の水質調査などを通じて、いたち川について、いろいろ知ってみよう。 申込：7月14日(月) 必着で申込用紙を区役所へ。 案内は、いたち川OTASUKE隊の皆さんです。 ※申込用紙は区役所、地区センター、コミュニティハウス、公会堂、区民活動センターで配布。 区役所ホームページでもダウンロード可	7月31日(木) 9時～11時30分 雨天の場合は、8月4日(月)に延期します。	扇橋の水辺 (現地集合・現地解散)	区役所生涯学習 支援係 TEL 894-8396 FAX 895-6990
ひんやり水辺でいきものウォッチング	【ハマの森遊びシリーズ、キッズ編】 園内のいたち川源流部で水辺の生きもの達とふれあいます。対象は小学生とその保護者40名です。 申し込み方法は、要連絡(雨天決行)	8月23日(土) 10～12時	横浜自然観察の森	横浜自然観察の森 TEL894-7474
		8月24日(日) 10時～12時		
第18回 いたち川 いかだまつり	いたち川でいかだ遊びや鯉との力くらべ、ヨーヨーすくいなどを楽しみましょう。 参加費：1人100円(保険料) (雨天の場合は、8月31日に延期します。)	8月24日(日) 10時～12時 雨天の場合は、8月31日(日)	大いたち橋・小いたち橋広場 (区役所裏)	いたち川と親しむ会 問合せ先：滝口 TEL 467-46-1942
谷戸の学校 瀬上の水辺の 自然となかよし	草花で遊んだり、虫を捕まえたり、小川に入って魚を追いかけたり……。自然と仲よくなることが、自然を守る第一歩。ご家族どうぞ。 案内は「モリゾーキッコロ・森へ行こうよ!」の山田陽治さんです。 事前にメールでお申込みください。 segami-ps@hotmail.co.jp 参加無料。会場で無理のないカンパを。	8月30日(土) 10時～12時 (少雨決行) 当日連絡 TEL 080-5379-6409	瀬上沢 集合：10時 上郷高校下ホテルの掲示板付近	主催：瀬上の森パートナーシップ(SMP) 共催：瀬上沢とホテルを守る会

いたち川を守る水辺愛護会の活動に参加しよう！

水辺愛護会では、きれいな水を守るため、清掃などの環境保全活動を行っています。

「いたち川月間」期間中に活動に参加できる場所と活動日等は次のとおりです。

団 体 名	活 動 場 所	日 時	集 合 場 所
いたち川(新橋～タツノ橋)水辺愛護会	新橋～タツノ橋	7月27日(日)、8月24日(日) 9:00～11:00	海里橋下流左岸
いたち川(天神橋～新橋)水辺愛護会	天神橋～新橋	7月27日(日)、8月24日(日) 9:00～11:00	海里橋下流左岸
本郷中央シニア同友水辺愛護会	日東橋～天神橋	7月3日(木)、17日(木)、8月7日(木) 9:00～11:00	区役所市旗ボール付近
尾月水辺愛護会	尾月橋～葉月橋	7月12日(土)、8月9日(土) 10:00～12:00	尾月橋下流坊中の水辺
いたち川右支川本郷石橋水辺愛護会	右支川本郷石橋下流	7月6日(日)、8月3日(日) 10:00～11:30	本郷石橋下流右岸
瀬上沢とホテルを守る会	瀬上沢小川アメニティ	7月20日(日)、8月17日(日) 10:00～14:00	瀬上市民の森「池の下広場」
上荒井沢水辺愛護会	洗井沢小川アメニティ	7月5日(土)、8月2日(土) 9:30～12:00	荒井沢市民の森「ごくらく広場」

「いたち川月間」に関するお問い合わせは先 栄区役所 区政推進課 企画調整係 TEL 894-8161

発行年月
2008年6月

通刊42号

発行：狹川OTASUKE隊 (いたちがわおたすけたい)

OTASUKE隊事務局：栄区役所区政推進課企画調整係

栄土木事務所下水道・公園係

〒247-0005 横浜市区役所桂町303-19
TEL 045-894-8161 FAX 045-895-2260
〒247-0007 横浜市区役所小菅ヶ谷1-6-1
TEL 045-895-1411 FAX 045-895-1421
(お便り・お問い合わせは こちらまで)

いたち川の環境復元の紹介（復元のあゆみ その2）



今回は、いたち川最下流に当る柏尾川合流部から海里橋までの河川改修の話をしたいと思います。この区間の護岸はコンクリートで造られた典型的な都市河川の標準形構造になっています。

この区間の工夫としては、水が直接コンクリートと触れないように複断面となっていることは言うまでもありませんが、その低水路には数箇所に階段が造られ、水辺に下りて人が直接水に触れられる場所を設けていることです。河川に興味を持つ人が増えるようにと親水効果を狙っているのです。

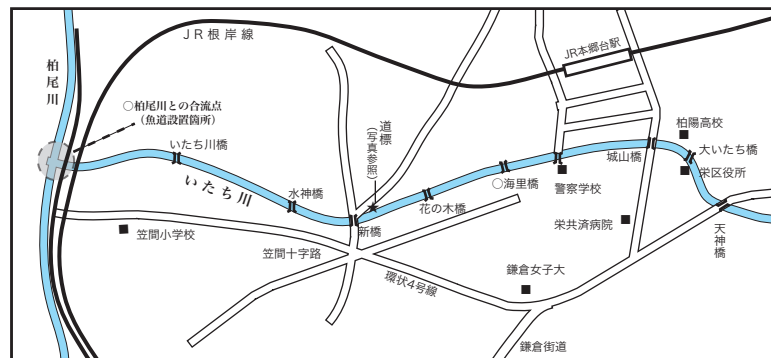
● 魚などの生物が棲める川の特徴

生物が生息できる川とはどんな川でしょうか。昔の川や田舎の川を思い出してみてください。以下の条件が揃って生物の生息する豊かな川が出来るのです。こうした自然条件を人工的に多数試みたのが現在のいたち川なのです。

1. 流量・水質の確保
2. 増水時の魚類などの避難場所の確保
3. 餌の確保
4. 産卵場所の確保・天敵からの保護
5. 回遊路の確保

● 階段は全て下流に向かっています

低水路に下りる階段は全て下流に向かって下りるように造られています。これは増水時に魚や水鳥などが流されることのないように、階段が水の勢いを止め下流側に避難場所を提供しているからです。いたち川橋上流右岸には、旧河川に沿って入り江を設けていますが、これも増水時、生物の避難所効果のためのものです。その構造は、地表部の法面（のりめん）にコンクリートブロックを隙間を開けて貼り付けた毛布を敷いた構造で、雨水を地下に浸透させ、表面は植物が繁茂できるようになっています。入り江の周りには川の生物を観察できるように歩道が出来ていますが、その下（水面下）には魚巢ブロックが設けられており、魚が自由に隠れる場所を提供しています。



低水路整備事業が行われた柏尾川との合流部から天神橋間のいたち川の図。最下流域に当たり水量も多く、川を見下ろす感じで川の両側に遊歩道が設けられている。

● 人には見えない水面下に隠れ石が点在しています

いたち川橋から水神橋間の流路は直線に変化に乏しいため、河床も平坦になり、生物の生息や繁殖に良い状態とは言えませんでした。そこで、河床に変化をつけるため50cmくらいの石を水面下に点在させています。これは、水流が石の周りで渦をつくり河床を浸食して下流部をえぐることで、淵や浅瀬を造り出しています。また、石が移動することにより同じ作用が繰り返されて恒久的に河床に変化をつけ、淵には魚が集まり、浅瀬では水草が繁茂してプランクトンが増殖され、それを食べる小魚が集まり、水鳥が集まるように造られています。

● 新橋下流部の川の中に浄化槽

鎌倉市は下水の処理が比較的遅れているため、いたち川に入る水路からは雑廃水が流れ込みます。この処理を限られた範囲で幾分でも低減させるために、杭の間に石を詰めて円形の池を造って一旦汚水を滞留させてから本川に流れ込ませる構造としました。言うならば簡易的礫間浄化槽を川の中に造ったことになります。

● 魚は自由に回遊したいのだ！

川にはコイやフナなどのように一生を一定の場所で生息し産卵を行う魚と、アユ、ウナギ、ヨシノボリ、テナガエビなどのような回遊する魚がいます。前述したように、階段の構造や魚巢ブロックの配置や植生の繁茂により増水時や天敵などからの避難場所を確保してきましたが、自然豊かな川にするためには多数の回遊魚が棲んでいることが必要です。そのためには下流から上流まで魚が自由に行き来できる川の形態が望まれる訳です。

いたち川には、何種類かの魚道が設置されていますが、一般的に魚道には、次のような種類があります。

- | | |
|------------|--------------------------|
| ① 階段式 | 階段の上を水が越流する方式 |
| ② デニール式 | 底部側部に段を設けて越流する方式 |
| ③ アイスハーバー型 | 底部の段差と水面に凸物を設けて部分越流する方式。 |



柏尾川との合流部の全断面魚道。すり鉢状になっていて、写真手前が柏尾川、奥がいたち川。



直線状の水路。水面下に石を点在させて水の流れをつくっている。水辺へ下りる親水用の階段が見える。

- | | |
|--------------|-----------------------------|
| ④ バーチカルスロット式 | 側面から交互に隔壁を設けて流れを遮りながら流れる方式。 |
| ⑤ 粗石付斜面式 | 階段式に石を取り付ける事により早瀬風になっている方式。 |

柏尾川との合流点から海里橋の区間には、2箇所に魚道が設置されています。一箇所は、合流部に設置した粗石付斜面方式の改良型の魚道です。どのように改良されているかというと、布を縫い合わせ（キルティングのような物）その中にコンクリートを流し込んだものを底盤として、その上に粗石を取り付けたもので、水量に関係なく多種多様な魚類が遡上できるようにしたものです。もう一箇所は、いたち川で最初に設置された魚道で、海里橋下流の段差に設置されたバーチカルスロット式魚道です。これを選定した理由は、小型で、かつ一般的で、多く設置例があったからです。今新たに設計するとすれば遡上する魚類が多様になったこともあり、より効果的な全断面のアイスハーバー型にする方が望ましいように思えます。

● 花ノ木橋付近には

花ノ木橋下流の川底は、全体に杭と石で早瀬を造って流れを速めて空気を混入する場所を設けることにより、水蒸気の発生を促し気化熱により水を冷やしつつ、水中に空気を混入させることにより、一年中水草（フサモ）が繁茂してプランクトンの発生を促しています。プランクトンは水の中に含まれている有機物を食料として育ち、それ自身は魚の餌になり水の浄化をしているのです。

● 歴史を語るいたち川

いたち川は、鎌倉時代に国境の川として「出で立ち川」が転訛したことは良く知られたことですが、鎌倉に至る街道は、新橋で3本の街道が集合して一本となり鎌倉に向かっていきます。その3街道とは、中仙道より泉区の境川沿いから原宿を通る「上道」、東海道の不動坂より柏尾川沿いの「中道」、保土ヶ谷の東海道沿いにある北向き地藏尊より弘明寺を経て来る「下道」があります。現在でも新橋の橋際には当時を偲ぶ石碑があります。

水・人・子（ミジンコ）



新橋際の道標。石標には「これより戸塚宿」反対の裏側には「弘明寺へ」と書かれている。横に見えるのは屋根付きの延命地藏尊。